

報告 水部会

おいしい水を考える

第5回 MELON 環境市民講座

日時：2003年9月27日（土）

場所：大学生協仙台会館2F大会議室

テーマ：安全でおいしい水

～私達が飲み水に求めるもの～

講師：左巻健男氏（京都工芸繊維大学アドミッションセンター教授）、塚原光彦氏（キリンMCダノンウォーターズ株式会社 企画部長）

参加者：46名

主催：MELON 水部会

MELON 水部会では今年5～6月に、飲み水の意識調査を行いました。その結果、全体（329人）のうち93%の方が水道水に対して第一に安全性を求めていることがわかりました。では、「安全な水」とはどのような水でしょうか。



講師の左巻氏は、『「水道水はまずい、安全ではない」という思いから、各種のミネラルウォーターが売られているが、水道水が法律に基づいて「安全」を厳しくチェックされてい

るのに対し、ミネラルウォーターにはチェック機能がほとんどない。地下水や湧き水をパックしているわけだが、それらもいろいろな化学物質で汚染されているのが実情』と、水道水やミネラルウォーター、浄水器についてなど様々な視点から飲み水の安全性についてお話しくささいました。

後半は、企業&環境プロジェクトのメンバーであるキリンビバレッジ(株)の協力で、キリン MC ダノンウォーターズ(株)の塚原氏に、水を作る立場から実態や苦勞などを話していただきました。企業側からの視点ということで、参加者からは「大変興味深くうかがいました」との感想が寄せられました。

講演の合間には、休憩も兼ねて水道水とミネラルウォーターの「利き水」を実施しました。講演会は「水についての意識を改めさせられた」と大変好評でした。左巻氏の著書「おいしい水 安全な水」はMELON で貸し出しております。興味のある方は事務局へ足をお運びください。



報告

ごみ減量プロジェクト

伝統から紙を知る

ごみ減量プロジェクト 学習会

日時：2003年10月6日（月）

場所：柳生 佐藤平治さん宅の庭

山西製紙株式会社

テーマ：柳生和紙の紙すき体験・古紙工場見学

参加者：10名



《紙すき体験》

名取川水系に恵まれた柳生は、豊富な井戸水と川水を利用して、今から400年程前にはほとんどの農家で紙をすき伊達藩に

納めていました。明治～大正時代には、名取郡中田村で米の生産を上回る収益を確保していましたが、柳生和紙づくりの農家はしだいに減り、今では佐藤平治さんの家1軒だけになりました。

原料となる木の刈り取りから皮そぎまで「浸水と加温」を繰り返し、繊維をより細くほぐす工程を平治さんが行い、紙すきの工程は奥さんにまかせてのあうんの呼吸は見事でした。

私たちが紙すきにトライしましたが、なかなか上手にできませんでしたが、佐藤さんご夫婦の指導のおかげで、はがき2枚と便箋2枚を作ることができ、新聞紙に包んで持ち帰りました。持ち帰ったはがきはきれいに仕上がり、とても楽しかったと好評でした。

《古紙工場見学》山西製紙(株)代表取締役 新野藤蔵さんに、古紙問屋から入荷した古紙を見学後、工場を案内していただきました。事業所から出た紙類を地球釜(蒸気釜)に入れミキサーにかけ、井戸水を利用して何度も水洗いを重ねて乾燥し、できあがった古紙ちり紙をすぐにトラックに積み込んでいました。オフィスや家庭で分別をすることの必要性を改めて考えさせられた一日でした。（参加者 柳原昊）